



— 第34回 —

出来なかったことが 出来るようになるのは 楽しくて仕方がない

いまいずみ ゆうや
今泉 悠弥 くん

PROFILE

市立四和中学校3年。2歳からスキーを始める。中学校では陸上部、小学校から続けている剣道は2段の腕前。八甲田スキースクール十和田分校（十和田湖温泉スキー場）所属。
第52回全国中学校スキー大会（2月4日～8日・大鰐町）で回転10位（192人中）、大回転14位（194人中）の成績を収めた。

「全国中学校スキー大会で10位入賞できてうれしいです」とにこやかに話す今泉くん。
試合のない休日には、J・I・P・O・Pを聴きながらスキー板にワックスを塗るといって中学3年生です。
「スキーを始めたのは2歳。兄弟皆スキーを始めたけど、僕だけが今も続けています。コーチのアルペンスキーを見て、すごい格好いい！と思って、自分からアルペンスキーをやりたいと両親に話しました。小学生だった僕はポールを倒すことに夢中で、無理やりポールに当たりに行ったりしました。できなかったことが出来るようになることがとにかく楽しくて。それは、今も同じです」と話します。
スキーを頑張る決意をしたのは、小学校4年生で出場した全国大会で4位になった時。それからは、夏には県外の人口ゲレンデ、冬には焼山のスキースクールにお父さんとともに通い、スキーの練習に専念してきました。今まで支えてくれた家族への感謝は常に忘れません。
そんな今泉くんは『努力は必ず報われる』という言葉には違和感があると云います。「同じことをダラダラと続けるより、新しいことに挑戦して、次のステップにつなげる方が成長は早いと思う」そう話すのは、今まで、失敗しては試し、挑んで



▲第52回全国中学校スキー大会 回転（10位入賞）の様子



▼第65回青森県中学校スキー大会 大回転（優勝）の様子

たことの表れなのでしょう。今シーズンの今泉くんの挑戦はまだ続きます。3月27日から岐阜県で行われるジュニアオリンピックでは「自分が持っている実力を全部発揮できれば優勝も狙える」と気力も十分です。
今、一番欲しいものはスキーに有利な『身長』と話す今泉くんは、心身ともに成長期真っ只中。今後の活躍が楽しみです。